

デアル元來 Japanese Plum ハ果樹デアッテ北米合衆國ナドデハ頻ニ之ヲ培養シテ其果實ヲ改良スルニ苦心シテ居ル是レハ同國人ガ大ニ其果實ヲ稱美スルカラデアルソコデ今假リニ同國カラ Japanese Plum ノ苗ノ注文ガ日本へ來タトスル此場合早速此英和辭書仕込ノ智識デ郁李即チにはうめノ苗ヲ送ッタラドウダロウ我邦ノ外國輸出ノ植木屋ナドデハ從來之レニ類シタコトヲシテ失敗シタ例ガ少クナイ即チ名稱ノ間違カラ來タ失敗デアルソコデ辭典ノ編纂者ニ望ム所ノモノハ其編纂上ニ今少シ慎重ナル注意ヲ拂ッテ間違ヒノナイ様ニシテ賞ヒタイコトデアル

○誤稱ノきんぽうげト真正ノきんぽうげ

牧野 富太郎

今坊間ノ教科書、植物書ヲ繙ケバ能クさんぽうげノ名ガ出テ居ル又文部省ノ小學讀本ナドニモ亦此名ガ見エテ居ル此様ナ書物ニ此名ガ載ッテ居ルモノデアルカラ從テ世人モ亦能ク此名ガ耳ニ慣レテ居ル然ルニ實ハ此等ノ書物モ又世人モ其稱呼ヲ誤ッテ居ッテ此等ノ書物ニ出テ居リ又普通世人ノ言フさんぽうげハ真正ノさんぽうげデナク誤稱ノさんぽうげデアル然レバ此等ノ書物ニ出デ又通常世人ノ言フさんぽうげハ何ンデアアルカト言フト其レハうまのあしがたト云フモノデアルうまのあしがたハ又一ニこまのあしがたトモ唱ヘル又國ニヨリテ種々ノ方言ガアッテ其稱呼ガ一樣デナイ即チおにぜり、おほぜり、うまぜり、おこりおとし、てまりぐさ、かはみつば、かいるこぐさ、うまのばんじゅう并ニひとでノ名ガアルソシテ從來ヨリ用キラレタ漢名(支那名ノコト)ガ毛茛アネモネデアル茛ノ字ハ能ク茛ノ字ト間違ヒ易イガ艸冠ニ良デハナクテ良デアル
うまのあしがたハ馬ノ足形アネモネノ義デアル又こまのあしがたハ駒ノ足形アネモネデアル即チ其葉ハ元來分裂シ居レドモ今之

誤稱ノきんぼうげト眞正ノきんぼうげ

ヲ遠クヨリ望メバ略ボ圓形ニ見ユル故之ヲ圓キ馬蹄ニ見タテ、其様ニ名ケタモノデアアル此品ハ諸州ノ路傍原野

うまのあしがた (縮圖)



丘陵等ニ多キ多年生ノ草本デ根ハ鬚狀ヲナシ葉ハ叢生
シ葉柄ト共ニ毛茸ガアル葉面ニハ往々紫斑或ハ白斑ノ
アルモノガアル莖ハ瘦長デ直立シ根生葉ヨリ上ニ高ク
抽イテ凡二尺内外ノ高サニ達シ上部ニ枝ヲ分チテ花ヲ
著ケル梢葉ハ無柄デ深ク分レ狭キ裂片トナツテ居ル花
ハ五瓣黃色デ五萼片ト多雄藥ト多雌藥ト有スル花瓣
ニハ其面ニ光リガアツテ頗ル美クシク五月頃ニ開花ス
ル、單瓣ノモノガ普通デアアルガ偶ニハ花瓣ノ少シク重
ナリタルモノガアル此ニ掲グルうまのあしがたノ圖中
(イ)(ロ)ノモノガ其レデアツテ半八重うまのあしがた
(新稱)ト稱セララル

クナツタモノヲ之ニ對シテ銀鳳花ト是レモ植木屋デ言ツ
タモノデアアル此等ノ花ハ全クノ八重咲デアツテ厚ク相
層リ雄藥モ雌藥モ瓣化シテ塞心トナリ宛モ八重咲ノ小菊ノ花ヲ見ル様ナ感ジガスルソシテ此金鳳花ハ江州ノ伊
吹山ニ産スルト言フコトデアアルガ孰レ原トハ一重咲ノ普通品ヨリ變ジ來ツテ出來タモノデアアルカラ先ヅ此普通

品ヲ培養シ其種子ヲ採テ時キ居ッタナレバ漸次ニ金鳳花ガ得ラル、デアロウト想フ圖中ノ(イ)ハ其一花ヲ大形ニ描イタモノデアアル

きんぽうげ (縮圖)



サテきんぽうげノ正體ハ右ニ述ベタ如キ品デアアル此眞物ハ此ノ如ク八重咲ノモノデアアルカラ普通ノ一重咲ノモ

誤稱ノきんぽうげト眞正ノきんぽうげ

だんざききんぽうげ (縮圖)



